白山市下水道事業における
ウォーターPPPに関するサウンディング調査

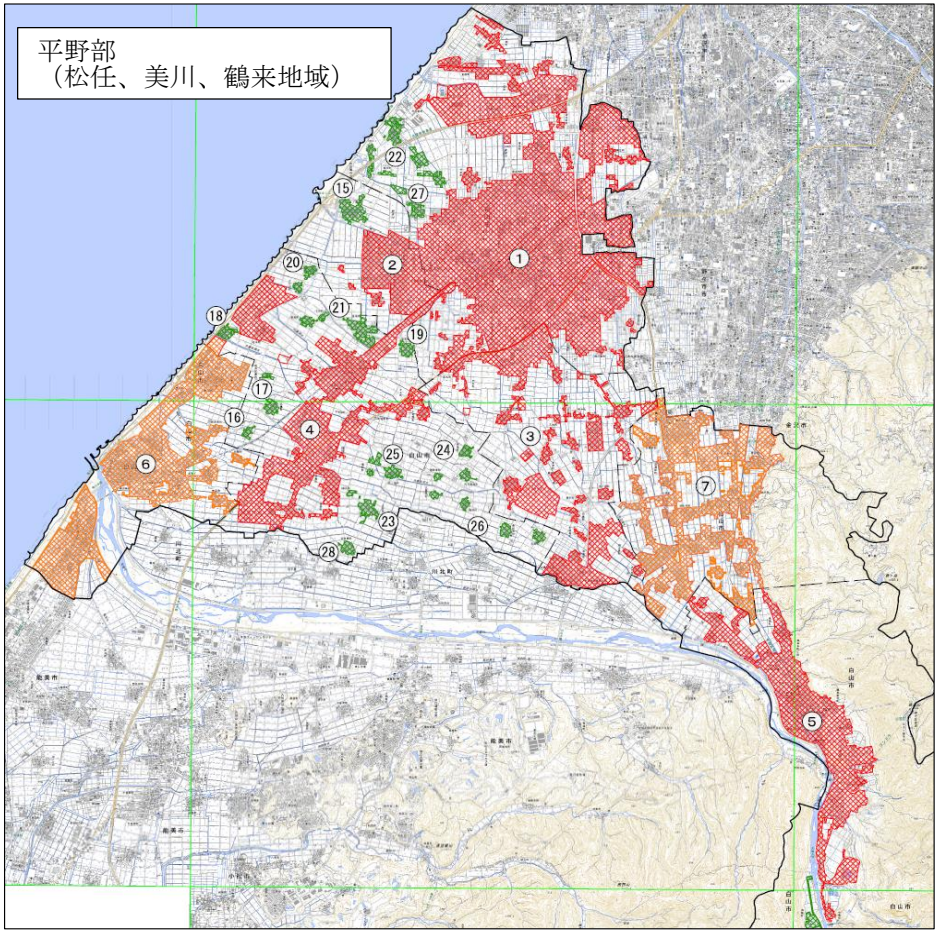
実施要領

令和7年12月

白山市
HAKUSAN CITY

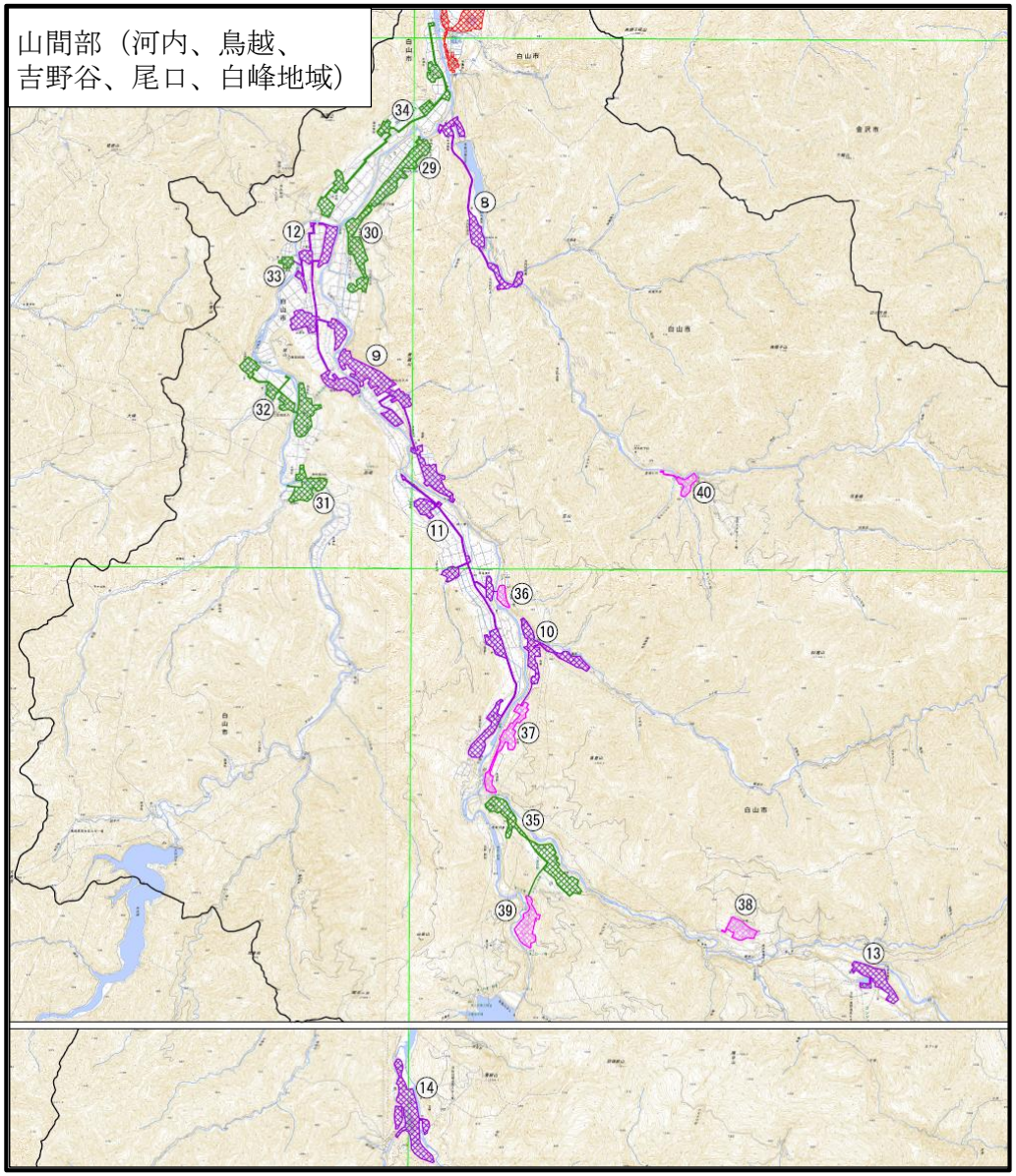
1 下水道事業の現状と課題（平野部の処理区域）

本市の下水道事業は、都市化の進展に伴う河川などの水質改善を目的に、美川地域は昭和47年、松任地域は昭和48年、鶴来地域は昭和57年に公共下水道事業に着手し、その後、地域特性に即した下水道事業を進め、現在は40処理区で下水道処理を行っています。



事業	区分	番号	処理区
公共下水道	松任中央	1	松任中央
		2	千代野
	松任南部	3	松任南部
	松任西南部	4	松任西南部
	鶴来	5	鶴来
流域関連公共	梯川	6	梯川
	犀川左岸	7	犀川左岸
農業集落排水	松任農集	15	徳光
		16	米光
		17	北島
		18	石立
		19	米永
		20	小川
		21	宮保
		22	相川新・相川
		23	上安田
		24	山島西部
		25	四ツ屋
		26	山島南部
		27	平木
		28	出合島

1 下水道事業の現状と課題（山間部の処理区域）



事業	区分	番号	処理区
公共下水道 特定環境保全	山ろく特環	8	直海谷
		9	吉野
		10	吉野谷中部
		11	吉原
		12	鳥越中部
		13	一里野
		14	白峰
農業集落排水	山ろく農集	29	河内
		30	河内第２
		31	大日
		32	城山
		33	若原
		34	河野
		35	尾口
地域下水	山ろくｺﾐﾌﾟﾗ	36	佐良
		37	木滑
		38	中宮
		39	女原
		40	内尾

1 下水道事業の現状と課題（下水処理場①）

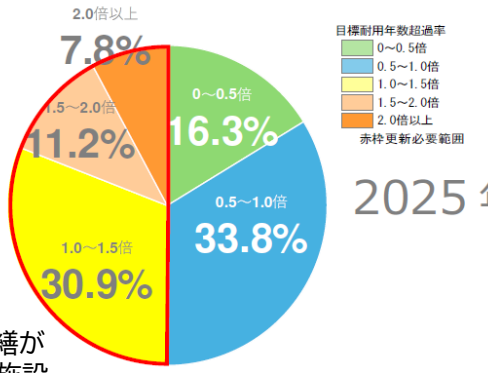
事業	区分	番号	処理区	法認可年月	計画面積（ha）	計画人口（人）	計画最大汚水量（m^3/日）	供用開始年月	水処理方式	処理能力（m^3/日）	備考
公共下水道	松任中央	1	松任中央	S54.9	1,409	53,200	25,500	S60.4	標準活性汚泥法	28,400	計画最大汚水量は千代野分を含まない
	―	2	千代野	S51.2	138	6,800	2,600	S53.9	標準活性汚泥法	4,700	廃止（統廃合・一部利用）
	松任南部	3	松任南部	H元.11	239	7,000	3,810	H5.12	ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ法	5,400	
	松任西南部	4	松任西南部	H8.1	453	10,200	5,900	H13.4	ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ法	6,400	
	鶴来	5	鶴来	S57.1	347	6,400	3,700	S63.3	ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ法	4,800	
流域関連公共	梯川	6	梯川	H3.3	413	12,600	5,238	H7.11	－	－	
	犀川左岸	7	犀川左岸	H7.3	392	16,400	6,806	H9.3	―	－	
特定環境保全公共下水道	山ろく特環	8	直海谷	H10.10	12	340	110	H15.3	ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ法	270	
		9	吉野	S63.5	43	1,130	260	H2.4	接触ばっ気法	570	
		10	吉野谷中部	S61.7	12	320	130	S63.11	接触ばっ気法	240	
		11	吉原	H元.8	26	570	250	H4.4	ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ法	490	
		12	鳥越中部	H4.9	48	1,080	340	H9.9	ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ法	540	
		13	一里野	S63.6	11	450	70	H2.10	ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ法	450	
		14	白峰	S61.7	31	1,070	470	S63.12	ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ法	920	

1 下水道事業の現状と課題（下水処理場②）

事業	区分	番号	処理区	採択年度	計画人口（人）	計画汚水量（m^3/日）	供用開始年月	水処理方式	機能強化年度	備考
農業集落排水	松任農集	15	徳光	S55	800	26.4	S62.3	JARUS-Ⅲ型	H12	
		16	米光	S56	107	36.3	S62.3	FRP	H16	
		17	北島	S56	328	108.9	H元.4	JARUS-Ⅴ型	H12	
		18	石立	S57	356	118.8	H元.4	JARUS-Ⅴ型	H11	
		19	米永	H元	312	105.6	H3.3	JARUS-Ⅴ型	H13	
		20	小川	H元	315	105.6	H3.3	JARUS-Ⅴ型	H14	
		21	宮保	S63	1,095	363.0	H3.3	JARUS-Ⅲ型	H13	
		22	相川新・相川	S60	1,266	419.1	H4.3	JARUS-Ⅲ型	H14	
		23	上安田	H3	341	115.5	H5.3	JARUS-Ⅰ型	H15	
		24	山島西部	H3	411	138.6	H5.3	JARUS-Ⅰ型	H15	
		25	四ツ屋	H4	512	171.6	H6.3	JARUS-Ⅲ型	H16	
		26	山島南部	H5	582	194.7	H7.3	JARUS-Ⅲ型	H16	
		27	平木	H5	425	141.9	H7.3	JARUS-Ⅰ型	H18	
		28	出合島	H5	206	69.3	H7.3	JARUS-Ⅰ型	H17	
	山ろく農集	29	河内	S60	820	277.2	S62.9	JARUS-Ⅲ型	H15	
		30	河内第２	H6	930	310.2	H7.12	JARUS-Ⅲ型	H9・R4	
		31	大日	H4	378	125.4	H5.11	JARUS-Ⅰ型		
		32	城山	H5	830	273.9	H8.4	JARUS-Ⅲ型	R5	
		33	若原	H5	83	29.7	H6.6	FRP		
		34	河野	H6	780	184.8	H8.4	JARUS-Ⅲ型		
		35	尾口	S62	2,275	752.4	H元.4	ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ法	H7・10	
地域下水	山ろくｺﾐﾌﾟﾗ	36	佐良	S61	130	43.4	S61.11	接触ばっ気法		
		37	木滑	S62	470	111.9	S63.11	接触ばっ気法		
		38	中宮	S60	550	181.5	S60.11	接触ばっ気法		
		39	女原	S62	320	88.0	S63.5	接触ばっ気法		
		40	内尾	S60	6,765	439.4	H元.1	接触ばっ気法		

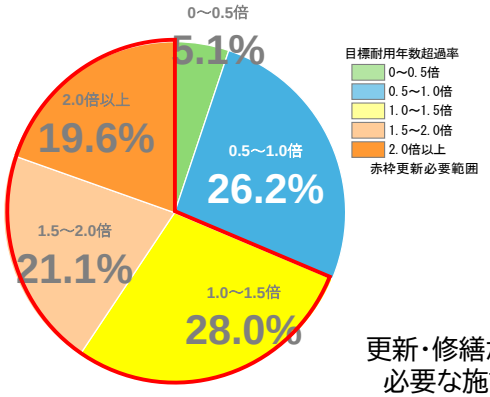
1 下水道事業の現状と課題（下水処理場等の老朽化状況）

（参考）白山市の下水処理場の老朽化状況



2025 年度

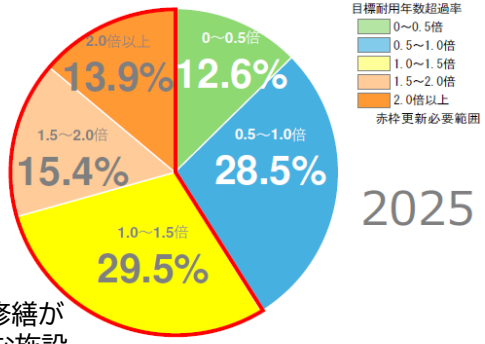
10年後



更新・修繕が必要な施設 49.9%

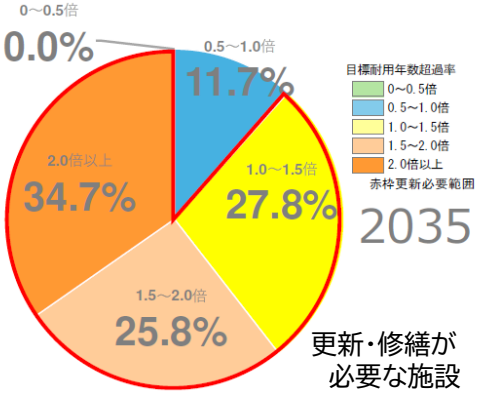
更新・修繕が必要な施設 68.7%

（参考）白山市のマンホールポンプの老朽化状況



2025 年度

10年後

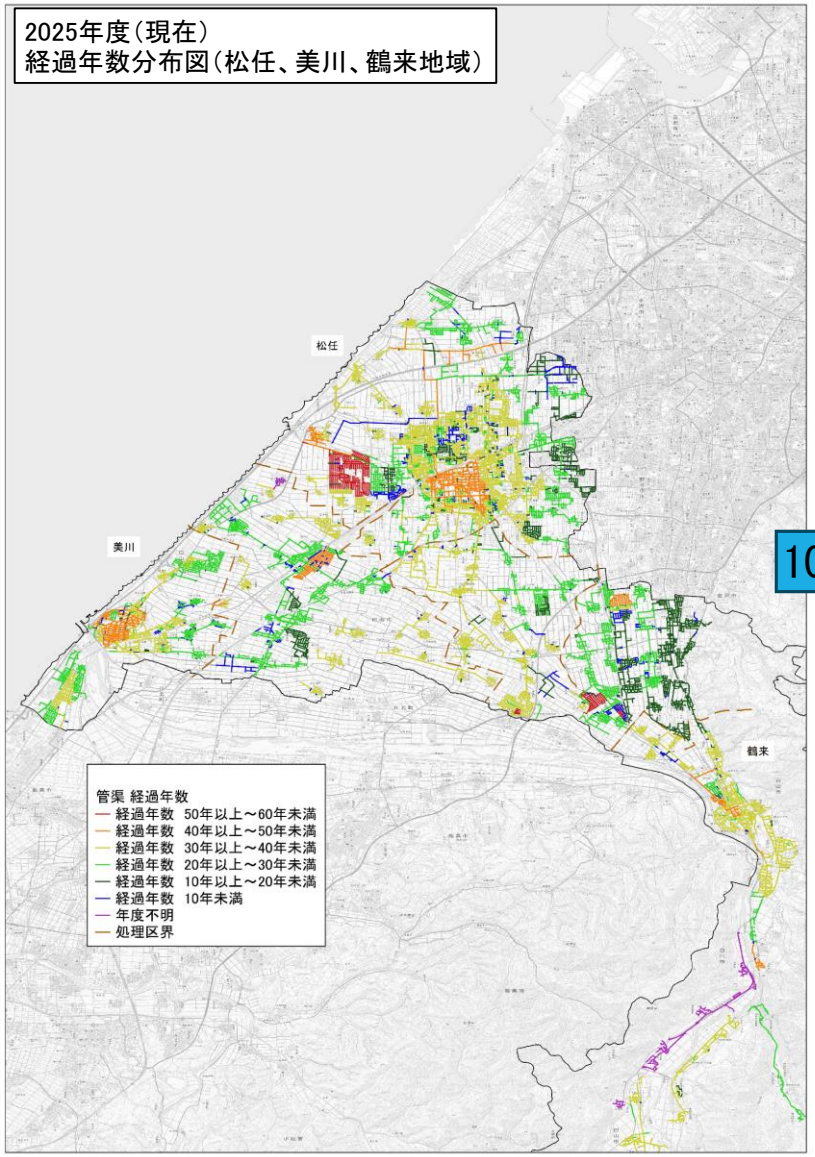


2035 年度

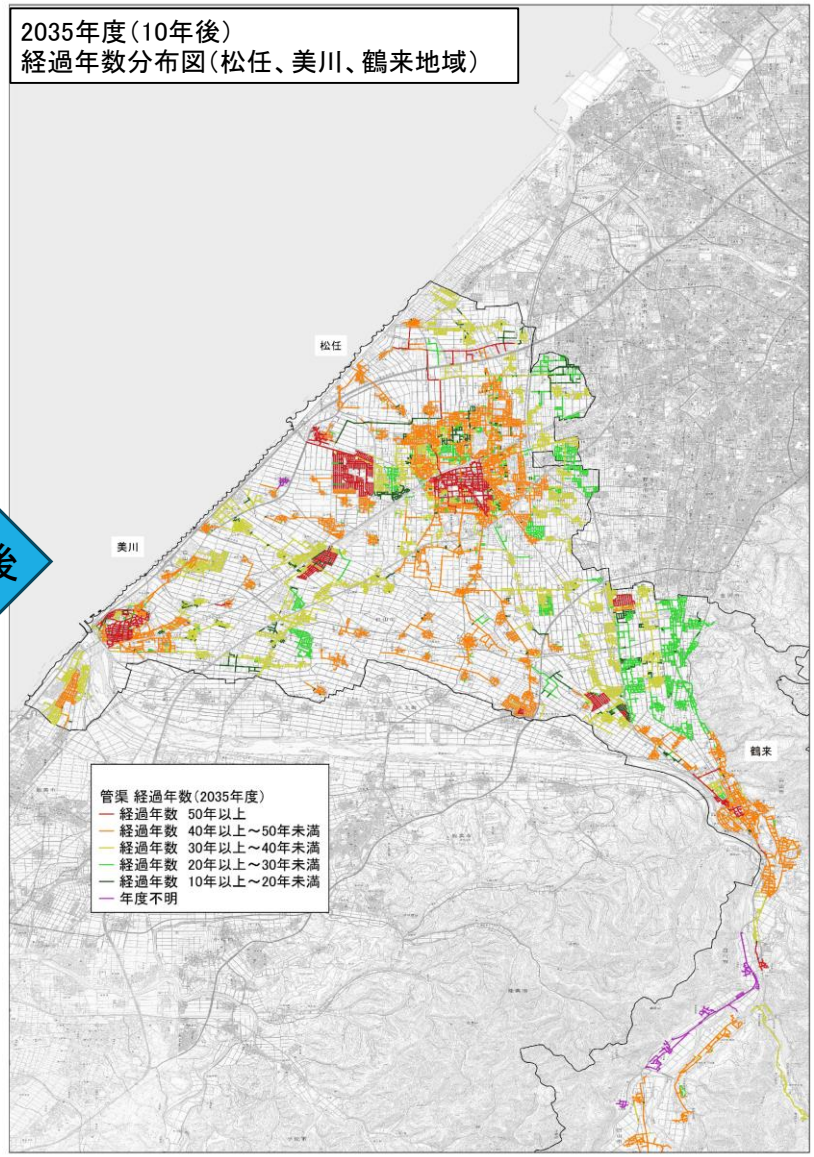
更新・修繕が必要な施設 58.8%

更新・修繕が必要な施設 88.3%

1 下水道事業の現状と課題（管路施設（平野部）の老朽化状況）

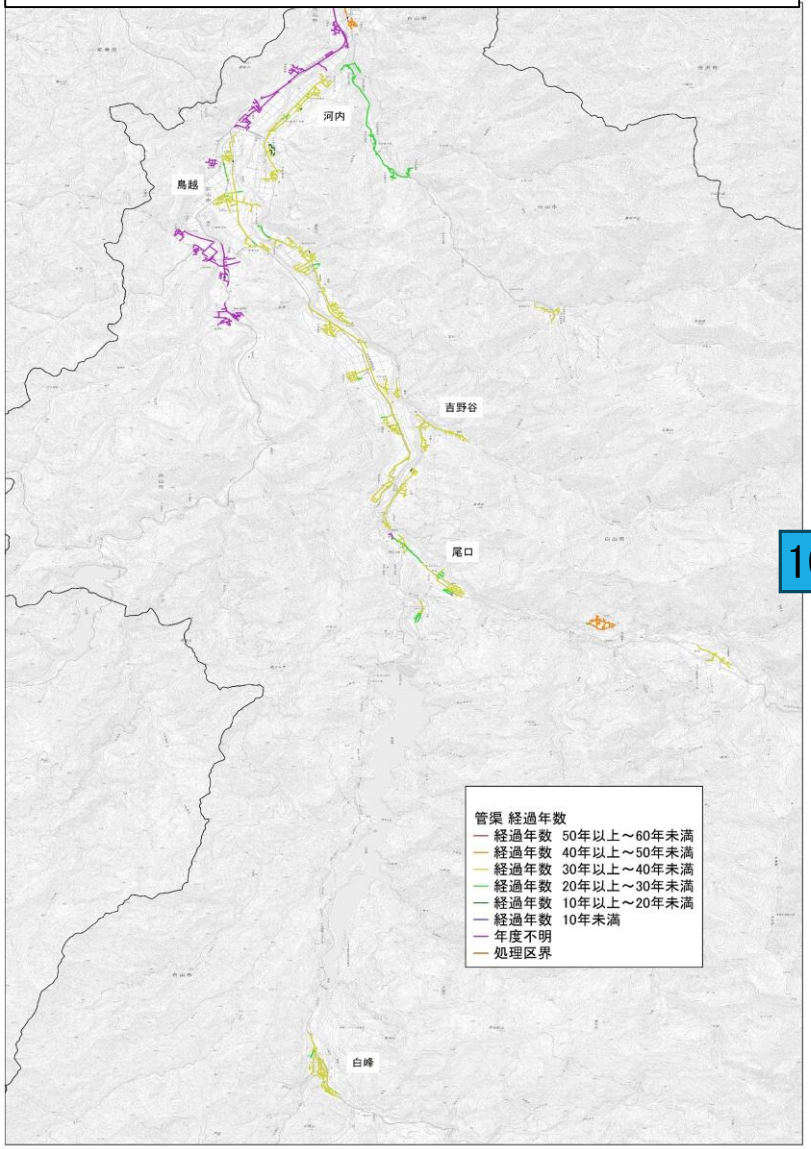


10年後



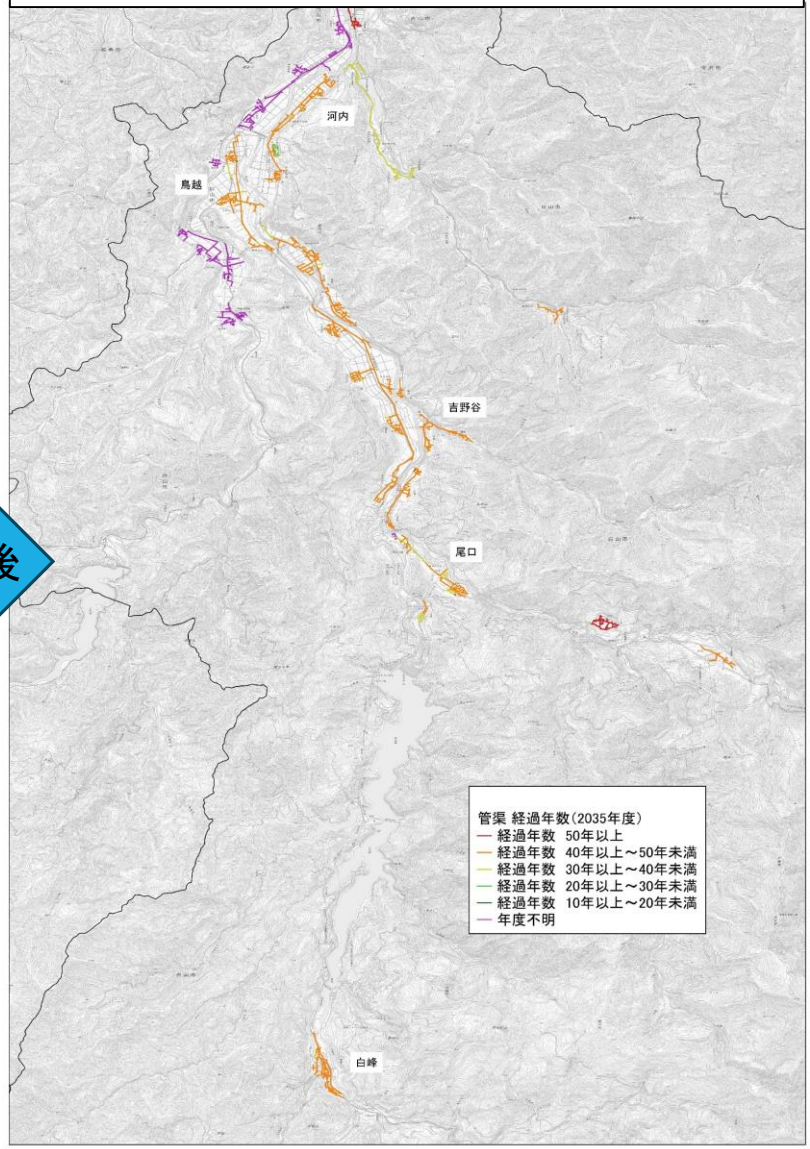
1 下水道事業の現状と課題（管路施設（山間部）の老朽化状況）

2025年度（現在）
経過年数分布図（山間部・河内、鳥越、吉野谷、尾口、白峰地域）



10年後

2035年度（10年後）
経過年数分布図（山間部・河内、鳥越、吉野谷、尾口、白峰地域）



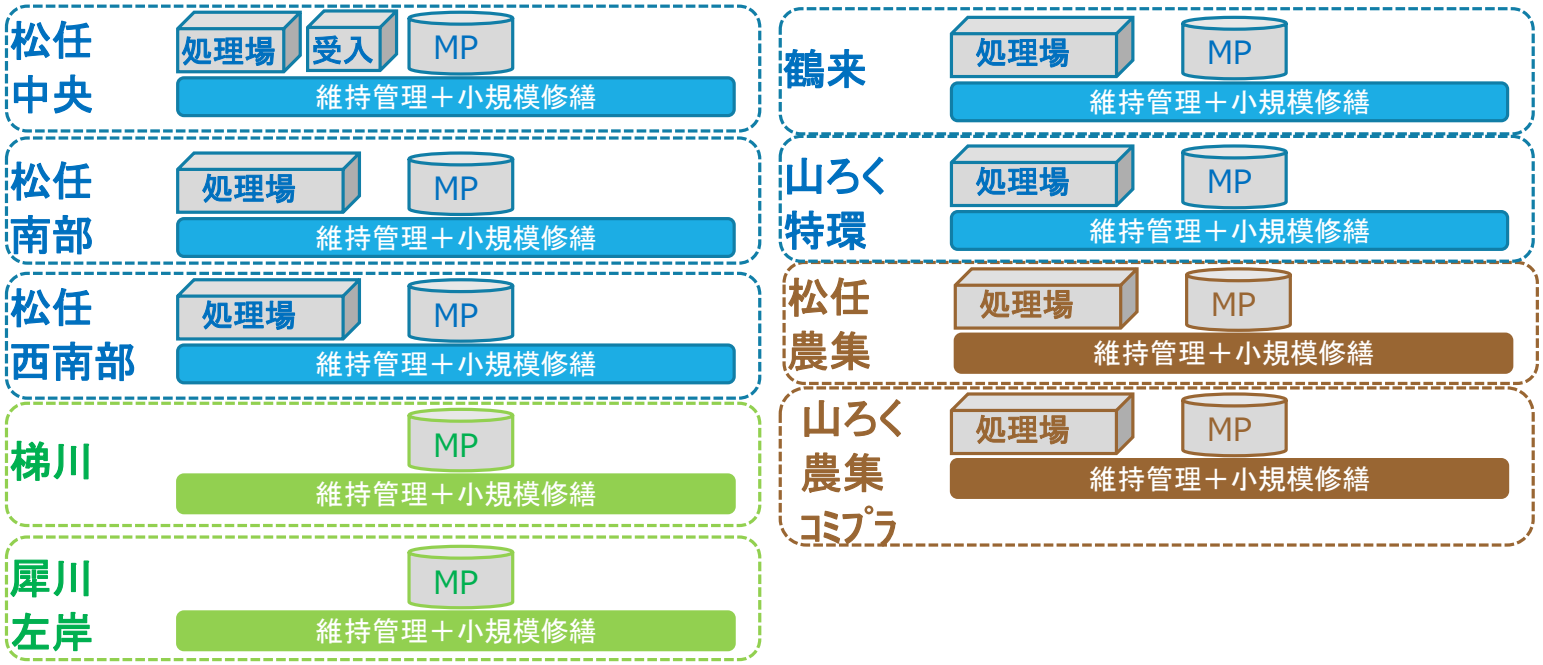
1 下水道事業の現状と課題（管路施設の老朽化状況）

経過年数	整備延長（m）				合計
	陶管	コンクリート系管	鉄系管	塩ビ系	
経過年数　50年以上～60年未満	0.00	6,272.84	51.00	19,539.45	25,863.29
経過年数　40年以上～50年未満	11,448.26	19,706.56	1,060.98	35,658.31	67,874.11
経過年数　30年以上～40年未満	25,827.74	8,536.82	13,933.59	304,630.03	352,928.18
経過年数　20年以上～30年未満	30,898.80	8,048.66	14,903.47	192,965.86	246,816.79
経過年数　10年以上～20年未満	0.00	987.71	2,273.86	108,477.55	111,739.12
経過年数　0年以上～10年未満	0.00	1,307.93	2,258.54	29,584.81	33,151.28
年度不明	0.00	1,537.60	218.00	21,315.82	23,071.42
合計	68,174.80	46,398.12	34,699.44	712,171.83	861,444.19

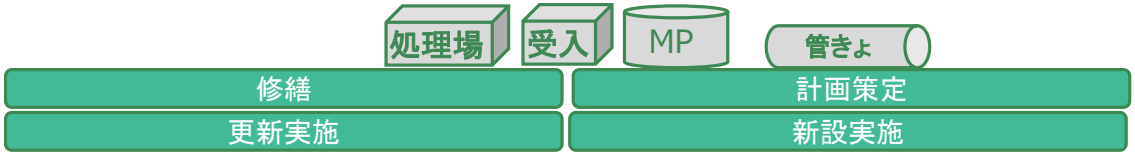
※R7年度　下水道台帳より

1 対象施設・業務範囲の設定（現状の委託状況）

【包括民間委託】
処理場・中継ポンプ場、し尿浄化槽汚泥受入施設及びマンホールポンプの
維持管理及び小規模修繕を3年契約で発注・委託しています。
≪包括民間委託レベル2.5≫水質管理、運転操作、保守点検、 ユーティリティ調達・管理等



【その他委託業務】
各事業・施設の計画策定、修繕、更新実施を個別に発注・委託しています。



1 下水道事業の現状と課題（下水道事業が抱える課題）

下水道は住民の暮らしの安心・安全の確保と豊かな水環境の保全に不可欠な存在です。
一方で、下水道が抱える課題は深刻さを増しており、課題への適切な対応が必要となります。

技術職員の減少

技術職員の減少により、
技術力の確保・継承が困難

施設の老朽化

施設の老朽化の進行により、
更新・修繕等の維持管理費が増加

使用料収入の減少

節水型機器の普及などにより、
下水道使用料等の収入が減少

このような現状の中で、民間の技術・ノウハウを最大限活用し、維持管理の適正化や施設の老朽化対策を推進するため、新たなPPP/PFI手法「ウォーターPPP」の導入可能性を検討しています。

2 ウォーターPPPの導入イメージ（方式の種類）

ウォーターPPP手法の公共施設等運営事業と管理・更新一体マネジメント方式のうち、
管理・更新一体マネジメント方式【レベル3.5】・更新実施型の導入を目指して検討を進めております。

ウォーターPPP

公共施設等運営事業（コンセッション）［レベル4］

- 長期契約（10～20年）
- 性能発注
- 維持管理
- 修繕
- 更新工事
- 運営権（抵当権設定）
- 利用料金直接収受

運営権や料金の直接収受など
実現性に課題あり

管理・更新一体マネジメント方式［レベル3．5］ 新設

- 長期契約（原則10年）
- 性能発注
- 維持管理
- 修繕
- 【更新実施型の場合】更新工事
- or
- 【更新支援型の場合】更新計画案やｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ（CM）

【白山市の目標体制】
運営権や料金の直接収受などは
現状維持（市管理）とし、
維持管理や大規模修繕に加えて
一定範囲内の更新工事も対象

複数年度・複数業務による民間委託［レベル1～3］

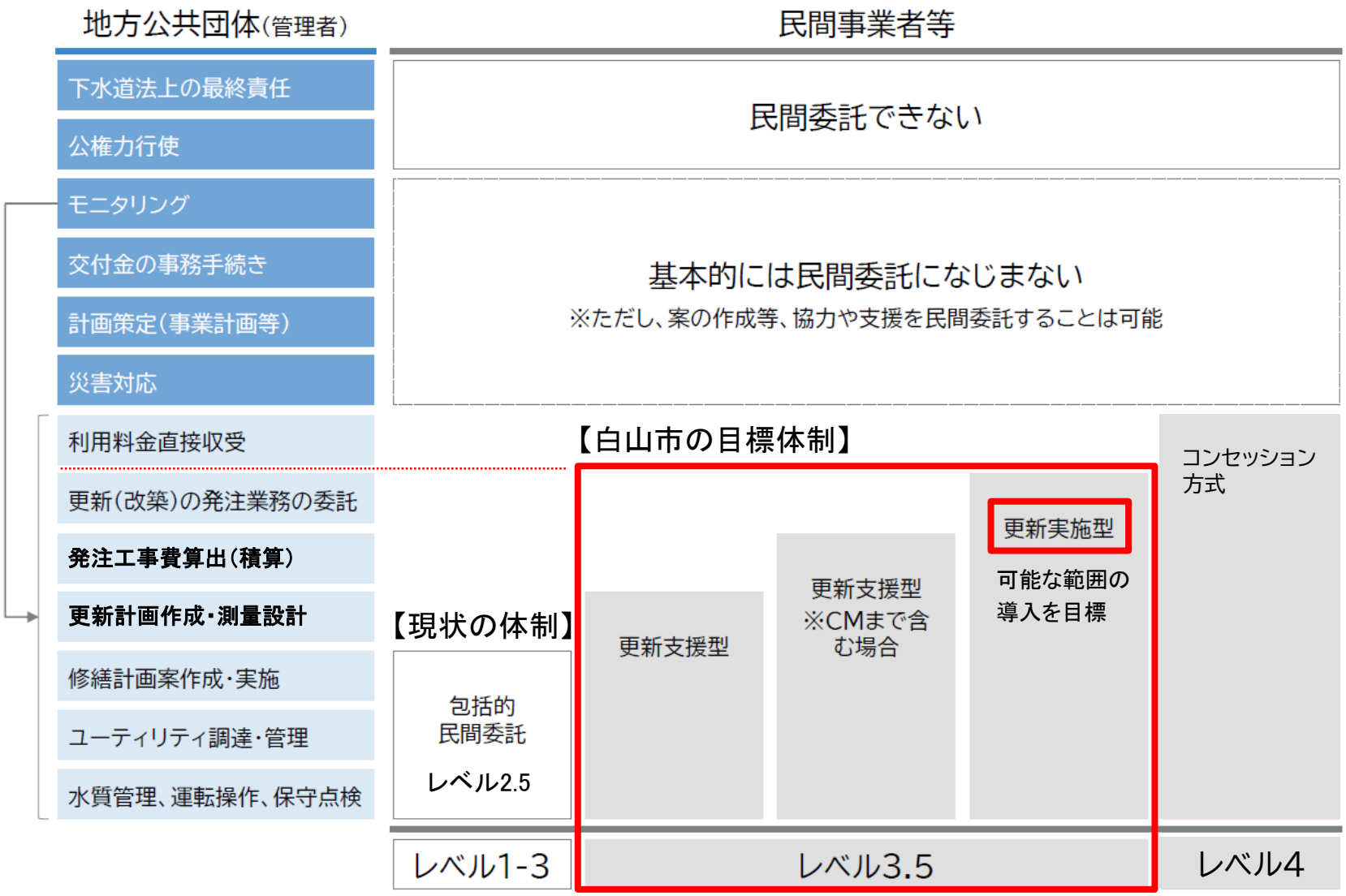
- 短期契約（3～5年程度）
- 仕様発注・性能発注
- 維持管理
- 修繕

【白山市の現体制】
・3年の短期契約（R6.3～R9.2）
・仕様発注
・維持管理＋小修繕のみ対象

現委託方式維持の場合、
R9より汚水管改築の国補助金が非対象※

※緊急輸送道路等の汚水管耐震化を除く

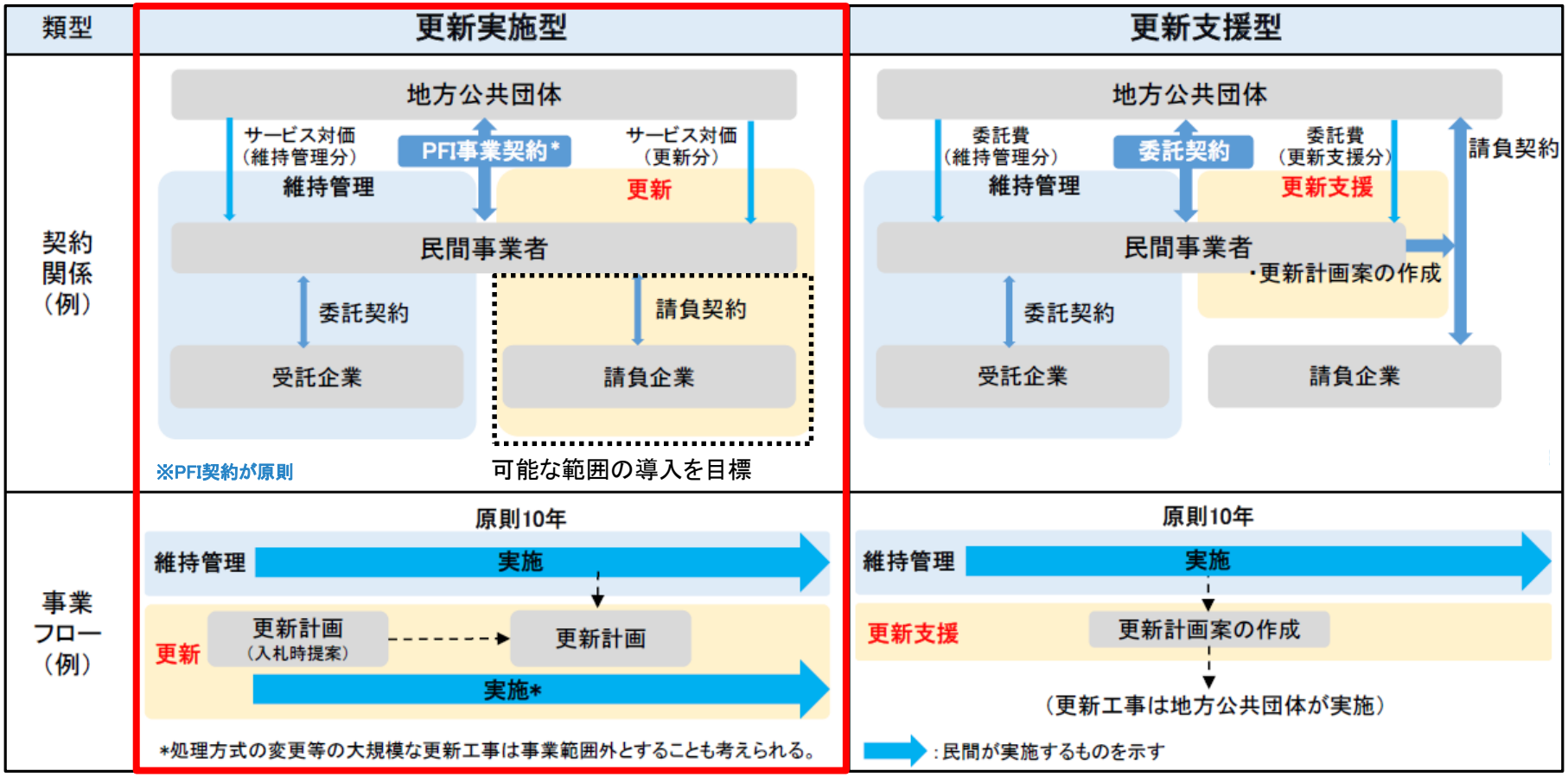
2 ウォーターPPPの導入イメージ（管理・更新一体マネジメント方式の概要①）【官民の役割・責任分担】



出典：国土交通省　下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン 第1.2版

2 ウォーターPPPの導入イメージ（管理・更新一体マネジメント方式の概要②）【更新実施型と更新支援型との違い】

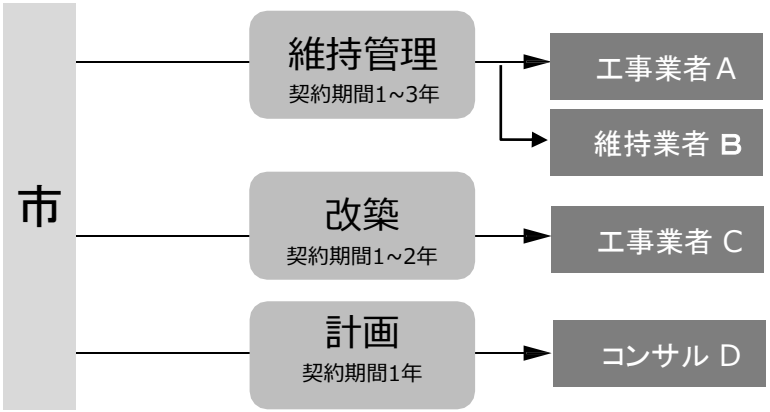
【白山市の目標体制】

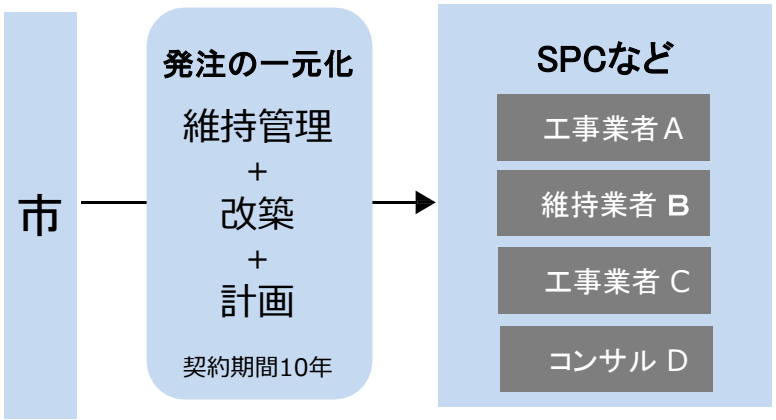


2 ウォーターPPPの導入イメージ（管理・更新一体マネジメント方式の概要③）【これからの業務形態のイメージ】

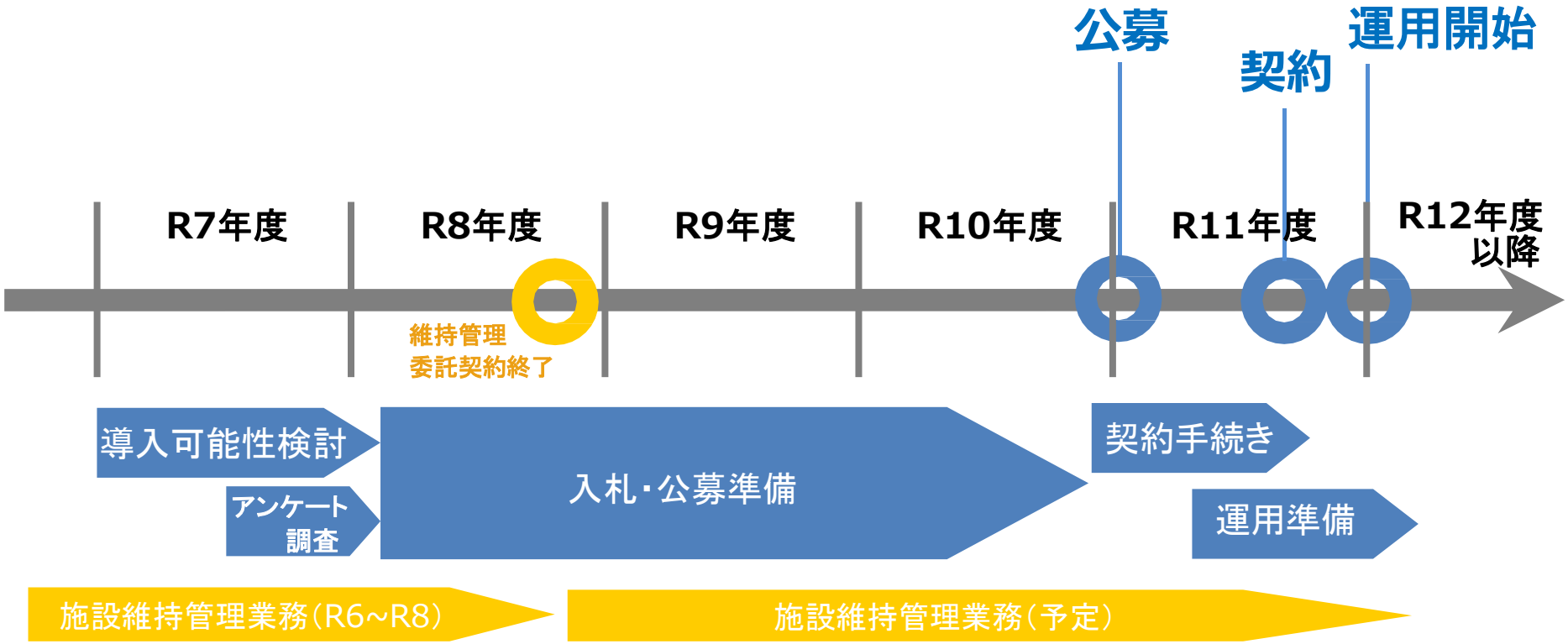
従来の業務形態
～個別発注～

これからの業務形態
～ウォーターＰＰＰ～





3 ウォーターPPPの導入スケジュール（案）



※契約後引継期間として3ヶ月程度を想定

※当スケジュールは、今後の検討などにより変更になる可能性があります。

4 サウンディング調査
（アンケート調査・個別ヒアリング内容）

「アンケート調査」及び「個別ヒアリング」の実施により、本市のウォーターPPP事業に対しての関心・意欲、課題などを調査し、受委託対象範囲及び対象業務の検討を行います。

アンケート調査
- 受託可能分野やウォーターPPPの経験の有無
- 本事業に対する関心・意欲
- 本事業に対する受託可能な対象範囲・対象業務
- SPC等の参画意向
- 本事業の懸念事項

個別ヒアリング
- アンケート回答結果を踏まえ、各企業の参画意欲や、より具体的な対象範囲や対象業務などの聞き取り調査を実施します。

※現時点では、開削を伴う管路工事（小規模工事・緊急工事を除く）や建築工事は、更新実施型に含めない方針です。

4 サウンディング調査（調査の進め方）

項目内容	日程
アンケート調査実施要領の公表	令和7年12月1日（月）
アンケートに関する質問期間	令和7年12月1日（月）～12月10日（水）
アンケートの提出期限	令和7年12月1日（月）～12月15日（月）
個別ヒアリングの実施	令和8年1月上旬～令和8年2月下旬（予定）
アンケート結果概要の公表	令和8年4月上旬（予定）

※スケジュールの期間や実施方法については変更となる可能性があります。
※個別ヒアリングはアンケート回答者のうち、参画意向者へ案内を送付し、実施を予定しています。
※希望者全員の個別ヒアリングを実施できない場合がありますので、予めご了承ください。

4 サウンディング調査（留意事項）

・サウンディングの実施結果について概要の公表を予定しています。
（参加事業者様の名称、ノウハウに関わる内容については公表いたしません。）

・調査への回答内容が、公募や入札評価に影響を与えることはありません。

・配布（公表）する事業説明書等の情報は、すべて「仮定」である点にご留意ください。

・本調査での提案内容及び発言内容は、何ら法的拘束力を持つものではありません。

・必要に応じて、追加調査を行う場合があることをご承知おき願います。

・調査への参加に要する費用（書類作成等）の一切について、参加者の負担となります。

・今後、下水道業務実施の予定がない方は、ご回答の必要はありません。

・現時点では、開削を伴う管路工事（小規模工事・緊急工事を除く）や建築工事を当事業に含めない方針ですので、これに該当する方のご回答の必要はありません。

4 サウンディング調査（回答）

回答については、下記フォームから入力をお願いしております。

MicrosoftForms

https://forms.office.com/r/BcTdyJc97T

4 お問い合わせ

原則、ご質問やお問合せ等はメールで対応させていただいております。
ご理解の程、よろしくお願いいたします。

・サウンディング調査 受託者

日本水工設計株式会社　名古屋支社　北陸事務所
住所：石川県金沢市本町2丁目11番7号　金沢フコク生命駅前ビル7F
電話：052-211-5681
E-mail：hokuriku@n-suiko.co.jp
担当：一松、伊藤、阿部

・サウンディング調査 発注者

白山市　上下水道部　上下水道課　下水道係
住所：石川県白山市石同新町195番地1　松任上水道センター
電話：076-274-9565

※当調査で入手した情報については、発注者に加えて調査受託者も共有し、今後の検討に使用させていただきますので、ご理解をお願いいたします。
※今後予定している、個別ヒアリングの案内を調査受託者からのご案内を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。

【参考】
アンケート調査 様式

・今後、下水道業務実施の予定がない方は、ご回答の必要はありません。

・現時点では、開削を伴う管路工事（小規模工事・緊急工事を除く）や建築工事を
当事業に含めない方針ですので、これに該当する方のご回答の必要はありません。

アンケート調査票

●アンケート調査の目的

(1)本市では、下水道事業および農業集落排水事業等の持続的な運営を目指し、民間の経営ノウハウや創意工夫を活用するため、新たな官民連携手法「ウォーターPPP※」の導入可能性について調査を行っています。

(2)ウォーターPPPに対する事業者の皆様の関心度やご意見、また事業内容に関する見解をお伺いするため、アンケート調査を実施しております。この調査を通じて、ウォーターPPPをはじめとした官民連携事業の実施可能性についてのご意見をいただければと考えております。

※ウォーターPPPやアンケート調査の詳細は、白山市HP掲載の実施要領等をご覧ください。

●記入にあたっての説明・注意事項

(1)帳票は、質問にしたがって「選択肢」よりご回答ください(該当欄にチェックを入れてください)。

(2)すべての設問に自由記入欄を設けていますので、特筆すべきことがございましたらご記入ください。

(3)今後、下水道業務実施の予定がない方は、ご回答の必要はありません。

また、現時点では、開削を伴う管路工事(小規模工事・緊急工事を除く)や建築工事は当事業に含めない方針ですので、これに該当する方においても、ご回答の必要はありません。

【1】貴社について

1.会社名をご記入ください。

自由記入

2.回答者様の部署名をご記入ください。

自由記入

3.回答者様のご氏名をご記入ください。

自由記入

4.回答者様の連絡先(電話番号)をご記入ください。

自由記入

5.回答者様の連絡先(メールアドレス)をご記入ください。

自由記入

【2】貴社が現在実施している業務分野を選択してください（複数回答可）

6.管理分野

	(1)料金窓口（窓口、検診、料金徴収、債権回収等）
	(2)施設系の運転管理（監視、運転操作、制御等）
	(3)施設系の保全管理（保守点検、修繕等）
	(4)管路系の日常的維持管理（住民対応、清掃、突発修繕等）
	(5)管路系の計画的維持管理（点検調査、計画修繕等）
	(6)点検調査・修繕改築計画等の策定（施設系、管路系等）

7.建設・更新分野

	(7)土木建築工事（施設系）
	(8)機械設備工事（施設系）
	(9)電気設備工事（施設系）
	(10)管路施設工事（管路系）
	(11)管更生工事（管路系）
	(12)実施設計（施設系、管路系等）

8.上記(1)～(12)に該当しない。

	(13)その他

9.問8のその他の内容を記入してください。

自由記入

【3】過去、受注したことのある上下水道事業におけるPPP/PFI事業の形態についてお答えください。（複数回答可）

10.実績あり。（回答後は問14以降に進んでください）

	(1)PFI(コンセッション)
	(2)管理・更新一体マネジメント方式(レベル(3)5)
	(3)PFI(従来型)
	(4)DBO方式
	(5)DB方式
	(6)包括的民間委託又は第三者委託

11.実績なし。

	(7)公募・入札に参加したことがある
	(8)参入を検討したことがある
	(9)これまでは、参入検討の実績なし

12.上記(1)～(9)に該当しない。

	(10)その他

13.問10～問12の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入

14.問10の回答(実績あり)を踏まえて、参画したグループ(コンソーシアム)での実績について教えてください(複数回答可)

	(1)処理場の維持管理実績あり
	(2)処理場の建設・更新実績あり
	(3)ポンプ場の維持管理実績あり
	(4)ポンプ場の建設・更新実績あり
	(5)管渠の維持管理実績あり
	(6)管渠の建設・更新実績あり
	(7)その他

15.問14のその他の内容を記入してください。

自由記入

16.問14の回答で維持管理実績ありの場合、可能な範囲で実績の性能発注のレベルを記入してください。

	(1)レベル3.5
	(2)レベル3
	(3)レベル2.5
	(4)レベル2
	(5)レベル1
	(6)該当なし

17.問14及び問16の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入

18.問10及び問11の回答を踏まえて、官民連携事業の参入時の体制について教えてください（複数回答可）

	(1)単独で参入
	(2)グループの代表企業として参入
	(3)グループの構成企業として参入
	(4)下請け企業として参入
	(5)参入経験なし
	(6)その他

19.問18の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入

【4】本事業に関する認識・参入意欲（関心）について

20.ウォーターPPPの認識についてお答えください。

	(1)ウォーターPPPについて知っており、内容を理解している。
	(2)ウォーターPPPについて知っており、ある程度、内容を理解している。
	(3)ウォーターPPPについて聞いたことはあるが、内容はよくわからない。
	(4)ウォーターPPPについて聞いたことがない。

21.ウォーターPPPに対する参入意欲（関心）の度合いについてお答えください。

	(1)非常に参入意欲（関心）がある
	(2)どちらかと言えば参入意欲（関心）がある
	(3)どちらとも言えない
	(4)どちらかと言えば参入意欲（関心）がない
	(5)全く参入意欲（関心）がない

（4）又は（5）を選択された方は以降の回答は不要です。

22.問21の回答理由を記入してください。

自由記入

前問21で(4)【どちらかと言えば参入意欲(関心)がない】または(5)【全く参入意欲(関心)がない】を選択した場合、以降の回答は不要です。(そのまま「次へ」で最終ページまで進み、「送信」を押してください)

【5】白山市におけるウォーターPPPの導入について

23.本市がウォーターPPPを導入するとした場合に適していると思われる処理場・ポンプ場の業務の対象についてお答えください。

	(1)更新実施型(処理場・ポンプ場の維持管理＋改築計画＋改築工事)
	(2)更新支援型(処理場・ポンプ場の維持管理＋改築計画)
	(3)包括委託(処理場・ポンプ場の維持管理)
	(4)仕様発注(処理場・ポンプ場がウォーターPPPの対象事業として適していない)

24.問23の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入

25.本市がウォーターPPPを導入するとした場合に適していると思われる管路施設の事業の業務の対象についてお答えください。なお、開削を伴う管路更新工事(開発行為など小規模や緊急性の高い工事を除く)は更新実施型(管路施設)には含めない予定です。

	(1)更新実施型(管路施設の維持管理＋改築計画＋改築工事)
	(2)更新支援型(管路施設の維持管理＋改築計画)
	(3)包括委託(管路施設の維持管理)
	(4)仕様発注(管路施設がウォーターPPPの対象事業として適していない)

26.問25の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入

27.本市でウォーターPPPを導入するとした場合、下水道事業及び農業集落排水事業、地域下水道事業をまとめて一体的に管理することを目指しております。参入することについてどのようにお考えですか。

	(1)非常に賛成 … 例:実施効果が大いに期待できると考える
	(2)賛成 … 例:一定の効果が期待できると考える
	(3)どちらとも言えない … 例:判断が難しい
	(4)反対 … 例:企業間の調整が難しく、複雑化すると考える
	(5)非常に反対 … 例:特定の企業グループへの依存を懸念する

28.問27の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入

29.本市でウォーターPPPを導入するとした場合、複数の企業がグループ(コンソーシアム)を組んで参入することについてどのようにお考えですか。

	(1)非常に賛成　…　例:実施効果が大いに期待できると考える
	(2)賛成　…　例:一定の効果が期待できると考える
	(3)どちらとも言えない　…　例:判断が難しい
	(4)反対　…　例:企業間の調整が難しく、複雑化すると考える
	(5)非常に反対　…　例:特定の企業グループへの依存を懸念する

30.問29の回答理由を記入してください。

自由記入

31.本市でウォーターPPPを導入した場合、SPC(特別目的会社)等の代表企業又は構成企業として参入することは可能ですか。

	(1)代表企業として参入したい
	(2)構成企業として参入したい
	(3)課題があり、検討が必要
	(4)参入が難しい
	(5)わからない

32.問31の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入

33.本市でウォーターPPPを導入する場合、将来を見据えた体制を構築(SPC:特別目的会社など)したいと考えています。SPCの設立を公募要件とすることについて、どのようにお考えですか。

	(1)非常に賛成　…必要不可欠だと考える
	(2)賛成　…導入を検討すべきだと考える
	(3)どちらとも言えない　…判断が難しい
	(4)反対　…SPCの設立には課題が多いと考える
	(5)非常に反対　…SPC以外の方法で十分対応できる

34.問33の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入

【7】ウォーターPPPに関する懸念事項・その他意見等について

35.本市がウォーターPPPを導入した場合の懸念事項は何ですか。該当するものを選択してください（複数選択可）

	(1)スケールメリットが十分に発揮されない可能性
	(2)他業種とのコンソーシアム調整に時間と労力がかかる
	(3)地元企業の参入機会が減少する懸念
	(4)他業種との連携がスムーズに進まない懸念
	(5)SPC（特別目的会社）又はJV（ジョイントベンチャー）内で業務金額の按分が不公平になる懸念
	(6)リスク分担が不公平になる懸念
	(7)リソース（人的・物的資源）の確保に伴うコスト増加
	(8)物価変動に対応するための価格調整の難しさ
	(9)地震や豪雨等の天災発生時の迅速な対応が難しい
	(10)参入できなかった場合の自社の損失
	(11)その他

36.問35の回答理由や補足説明などを記入してください。

自由記入

37.本市でウォーターPPPを導入するとした場合、貴社が提案したいと考える業務又は技術等があれば教えてください。

自由記入

38.公募資料の公表時に、最低限、提示して欲しい資料等があれば教えてください。（複数選択可）

	(1)全体計画・事業計画書
	(2)収支計画書（経営戦略）
	(3)ストックマネジメント計画書（施設・管路）
	(4)竣工図書
	(5)施設台帳・管路台帳
	(6)維持管理履歴・修繕履歴（施設・管路）
	(7)運転管理要領（施設・管路）
	(8)従前の標準仕様書及び特記仕様書
	(9)苦情処理簿
	(10)その他

39.問38のその他の内容を自由に記入してください。

自由記入

40.今回のサウンディングにてご回答いただいた内容を踏まえ、WEB・対面での個別ヒアリングの実施を検討しております。実施時にお声がけをして良いか、ご回答をお願いいたします。なお、個別ヒアリングは今後の検討内容によっては実施しない場合等がありますので、ご了承ください。

	(1)個別ヒアリング(対面)の参加を希望する
	(2)個別ヒアリング(WEB)の参加を希望する
	(3)個別ヒアリングの参加を希望しない

41.問40の補足説明等を自由に記入してください。

自由記入

回答ありがとうございました。

※当調査で入手した情報については、発注者に加えて調査受託者も共有し、今後の検討に使用させていただきますので、ご理解をお願いいたします。

※今後予定している、個別ヒアリングの案内を調査受託者からのご案内を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。